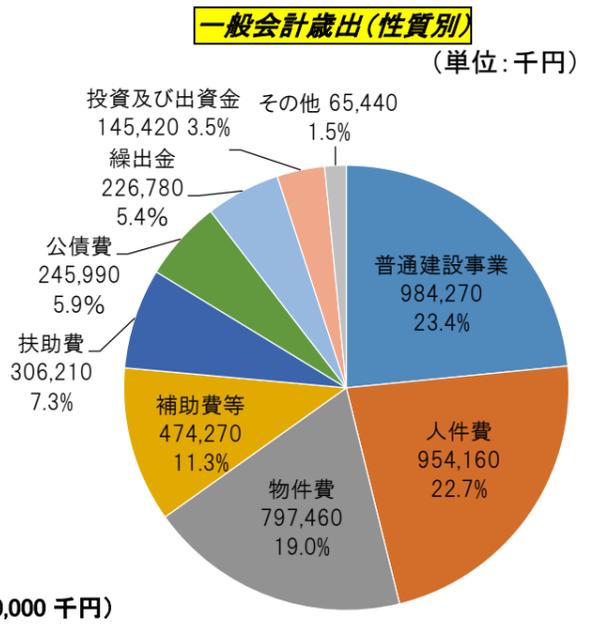
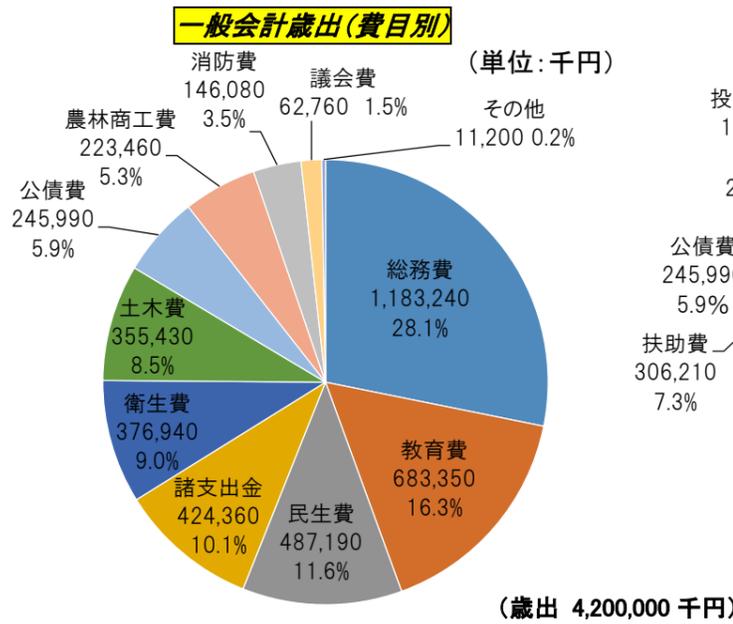
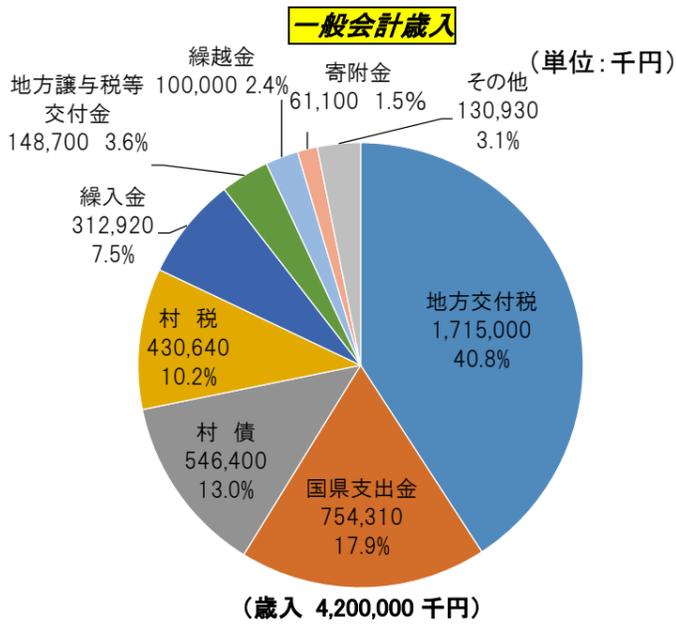


令和2年度当初予算の概要

明日香村の令和2年度一般会計予算は、42億円で、前年度に比べると総務費で3億6,865万円、45.3%の増(新庁舎建設事業に伴う用地取得・実施設計3億5,925万円等)、衛生費で1億269万円、37.4%の増(ごみ焼却炉解体事業1億4,000万円等)、教育費で4,544万円、7.1%の増(飛鳥ハーフマラソン事業3,600万円等)となっており、一般会計全体で4億5,800万円、12.2%の増となります。一般会計と7特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の合計10会計を合算すると、66億7,726万円となり、前年度に比べると4億4,891万円、7.2%の増となっています。



※諸支出金については、基金積立金、特別会計繰出金等

特色ある歴史的環境で次代を担う子どもが育つ村

子育て・教育

…黄色は新規事業

区分	内容	金額
子ども子育て支援事業の推進【住民課・健康づくり課・教育文化課】	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターにおいて【H28～】、保育支援を継続するとともに、ファミサポ明日香の会員を増やし、みらいっこルームでの一時預かり事業【H30～】の利用拡大と啓発の強化に取り組む。また、あすかっこアプリ【H30～】を活用した子育てに関する様々な情報の配信や交流会を実施。(児童福祉支援事業107,850千円) ・子育て世代の経済的な負担の軽減を図るため、不妊治療費助成【H28～】、多子世帯の給食費負担軽減【H28～】、幼稚園や保育園の保育料等軽減【H28～】及び無償化【R1～】、出産祝金、小・中学校への新入学児童・生徒へ祝金の支給【H29～】等を実施。(母子保健事業7,180千円、出産祝金給付事業1,800千円、入学祝金給付事業3,000千円) ・放課後児童健全育成事業は空き教室を利用して実施し、保護者が就労等で昼間家庭にいない小学生に対し適切な生活や遊びの場を提供する。【H25～】(放課後児童健全育成事業13,520千円) 	133,350千円
幼小中学校経営事業【教育文化課】	<ul style="list-style-type: none"> ・明日香の特色ある教育として、幼小中一貫教育、英語教育や郷土学習の一層の充実を図る。また、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもたちに適切な指導やアドバイスを行うための臨床心理士や特別支援員の配置、少人数学級編成による一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、学力向上と自立した感性豊かな子どもの育成を目指す。 	52,640千円
学校施設環境整備事業【教育文化課】	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した中学校の消防設備を更新し、安心安全な学習環境を整える。 中学校消防設備改修工事 	4,300千円

万葉の地で元気にいきいきと暮らせる村

健康・福祉

区分	内容	金額
健康づくり事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診に特化したあすか健康プロジェクト事業【H24～】や健康ステーション事業【H29～】、糖尿病性腎症予防事業【H30～】の継続や健診未受診者への受診勧奨を強化し、健診受診率の向上に努め、生活習慣の改善、予防対策を進めることで医療費の適正化を目指す。 	27,940千円
地域包括ケア体制構築事業【健康づくり課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターで、社会福祉協議会や関係団体と連携し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組みを充実させるため、地域サロンの活動【H27～】の場に積極的なフレイル予防体操【H30～】等の導入実施を行いながら、担い手であるボランティアの支援と育成に努め、社会参加の促進を図る。また、見守り、買い物支援など日常生活の支援について、現況把握やニーズ調査を実施し、地域全体で高齢者を支える体制の構築を図る。 	66,110千円
医療費助成事業【住民課】	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉医療該当者の健康の保持と福祉の増進を図るため医療費の一部負担に対する助成を実施。 	32,470千円

古都にふさわしい安全・安心で生活しやすい村

安全・安心・生活環境・定住

区分	内容	金額
防災対策事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や局地的豪雨などの自然災害に備え、備蓄品等の充実(食糧品及び衛生用品等の購入)を図るとともに、危険性の高い場所を確認でき、また発災時の初動対応に活用できる防災リーフレットを作成。 	7,600千円
防災組織育成事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の防災力の強化を図るため、各大字において、地域の危険箇所の調査やそれを活用した防災マップづくりなどの講習会を実施(組織率:R2年2月現在99.1%)。また、防災講演会や防災訓練を実施し、自助・共助などの防災意識の向上を図る。 	1,210千円
地域防犯推進事業【総務財政課】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯力の向上を図るため、防犯カメラ及び防犯灯LED化に対する補助並びに防犯灯の修繕を実施。 	2,260千円
定住促進事業【総合政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の空き家を活用し、定住を促進するため、空き家バンク制度を推進。【H21～】 ・子育て世帯の定住を促進するため、子育て世帯の新築等に関する費用の一部を助成。【H28～】 	6,440千円 10,000千円

区 分	内 容	
クリーンセンター管理運営事業【住民課】	・飛鳥地域における広域行政の連携を図り、燃えるごみの焼却処理を橿原市に委託し、生活環境の保全と安定したごみ処理を行う。 ・ごみの焼却処理の広域化に伴い、不要となる焼却炉を周辺環境に配慮し速やかに解体撤去するとともに、跡地にストックヤードの増設を行い、ごみの選別作業を効率化し資源の再活用の促進を図る。 ごみ焼却施設解体工事費132,800千円 施工管理業務委託7,200千円	73,420千円 140,000千円
公共交通運行事業【総合政策課】	・観光客の利便性向上及び村民の生活支援を目的に観光繁忙期の増便及び鉄道との乗り継ぎに配慮した赤かめ周遊バス【H15～】及び飛鳥キトラ線バス【H28～】の運行を実施。 ・村内の交通弱者の外出支援などを行うため、金かめ乗合交通【H27～】及びコミュニティタクシー【H18～】の運行を継続実施。 ・村民のニーズや新たな拠点に対応した公共交通を実現するため、現況把握及び分析を実施【R2～】。	27,230千円 14,340千円
道路整備事業【地域づくり課】	・村道地ノ窪線の道路改良工事を継続して実施し、R2年度完了予定。【H17～R2】 村道地ノ窪線 L=190m	44,500千円
下水道施設整備事業【地域づくり課】	・生活環境の改善と河川等の水質保全を図るため、下水道を整備。R2年度で整備が概ね完了。 下水道管布設工事(細川) L=120m	12,000千円
水道老朽管等更新事業【地域づくり課】	・安全で安定した給水を行うため、老朽化した水道管及び加圧ポンプを更新。 老朽管の更新(桧前、小山) L=106m、加圧ポンプの更新(上居)	103,000千円
道路維持事業 橋梁長寿命化事業【地域づくり課】	・安全で円滑な走行環境を確保するため、経年劣化した舗装等の修繕を強化するとともに、橋梁を定期的に点検し、修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図る。 道路維持事業 御園他6カ大字 橋梁定期点検 12橋 改修設計 2橋	41,000千円
新庁舎建設事業【総合政策課】	・新庁舎建設における事業用地の取得と実施設計・工事施工の請負業者の決定を行い、実施設計に着手。 用地取得面積 18,645㎡【H28～R4】	359,250千円

古代史の舞台で交流を促し元気のある村

農業・林業・商工・観光・雇用

区 分	内 容	
担い手育成支援事業【産業づくり課】	・農業従事者の高齢化や担い手が減少する中で、持続的に営農活動が行えるよう新規就農者や後継者等が行う農業生産活動を支援。(農産物の生産・加工等に必要施設の取得等に係る経費の助成や新規就農者の就農後の定着を図るための資金を交付。)[H22～]	6,300千円
農業戦略策定事業【産業づくり課】	・人口減少により懸念される農業課題に対応するため、最先端技術の導入や外部連携などの新たな営農手法の導入や、地域ごとの特性に応じた特産農産物の生産など、今後の方針を示す「農業戦略」の策定を推進。【R2～】	4,000千円
有害獣対策事業【産業づくり課】	・有害鳥獣による農作物の被害を抑えるため、猟友会及び捕獲専門員と連携し、個体数の減少に取り組むとともに、狩猟免許の取得・更新助成を行い人材の確保を図る。【H23～】 ・先端技術(ICT)を活用した有害獣の行動調査・生息調査データ等の分析を踏まえて、効率的な捕獲や集落の防御力を高めるための集落診断を実施し被害の軽減を図る。	9,470千円
里山田園景観創出事業【産業づくり課】	・荒廃した山林の林縁部において、広葉樹林化などによる里山整備を実施し、良好な景観創出とともに獣害被害抑制を図り、各種オーナー制度を推進。	10,850千円
企業誘致・宿泊施設誘致事業【総合政策課】	・宿泊施設等を立地させるために、地区計画の策定など関係機関との調整を実施。【H27～】	2,960千円
観光振興事業【産業づくり課】	・歴史・文化・自然などの地域資源を、広域連携等により広くPRし、文化財を活かした歴史体感プログラム(リビングヒストリー)事業等を通じて観光入り込み客数の増加を図る。 ・飛鳥ハーフマラソンを契機とした新たな誘客促進に向けた閑散期キャンペーンを開催し、観光産業の活性化を図る。	4,560千円
観光基盤整備事業【産業づくり課】	・古民家等を活用した村内での新たな創業に対して支援を実施。【H27～】 ・飛鳥観光協会と連携し、地域の観光資源を活かした着地型旅行商品の造成及び体験メニューの充実と情報発信を実施すること、周遊の促進と滞在時間の延長による観光消費の増加を図る。【R1～】	12,730千円
観光活性化事業【産業づくり課】	・明日香の価値(歴史・文化・自然等)を国内外に広く発信するため、総合パンフレット等の作成やWEBプロモーション、また光の回廊、古都飛鳥文化祭等を効果的に開催し、来訪客増加と交流促進を図り、地域の活性化を図る。	14,280千円
観光戦略策定事業【産業づくり課】	・観光産業の発展に向けて、観光事業者に対する育成・支援、費用対効果の高い受入環境整備事業やプロモーション事業を展開するため、今後の方向性を示す「観光戦略」の策定を推進。【R2～】	4,450千円
飛鳥ハーフマラソン事業【教育文化課】	・2020年東京五輪の開催によりスポーツへの関心が高まる中、村内での飛鳥ハーフマラソンを開催することで、新たな明日香ファンの獲得など、交流人口や関係人口の増加を促し、地域活性化の起爆剤とする。【R1～】(実行委員会予算52,000千円)	36,000千円

世界遺産登録による歴史的風土を守り活かし新たな文化をつくり出す村

保存活用・文化継承・景観・里山・情報発信

区 分	内 容	
世界遺産登録推進事業【総合政策課・文化財課】	・「飛鳥・藤原」の世界遺産登録に向けて、世界遺産登録推進協議会を中心として、提出した推薦書(素案)について文化審議会の意見を受けた修正作業や、機運醸成のため講演会など普及啓発を実施。【H18～】	3,090千円
村民協働事業【総合政策課】	・村民との直接対話の中で、新しい発想や魅力を創造する村づくりの推進を図るため、車座集會「明日香座」を開催。【H24～】 ・集落及び観光周遊ルートの除草や清掃を定期的に実施する大字管理組合に対し、活動費助成を実施。【H23～】 ・大字単位の景観、環境美化の維持・保全及び伝統行事の継承に対する支援を行う。【S55～】【特別会計 30,820千円】	44,740千円
社会連携事業【総合政策課】	・大学との地域連携【H17～】 関西大学 ボランティア活動、首都圏講演会の開催、出前講座 天理大学 ボランティア活動、スポーツ交流、生涯教育活動 など	5,130千円
芸術文化事業【教育文化課】	・村内在住の美術作家を中心とした明日香の匠展の開催、公民館を中心に活動する各種団体・サークルの発表機会の提供、次代を担う子どもたちによる子ども芸術大会など、文化の香る村づくりと来訪者も含めた多世代にわたる交流を促進。	6,520千円
飛鳥宮跡保存活用事業【文化財課】	・飛鳥の中核遺跡である飛鳥宮跡の保存・活用に向け、県と連携し、史跡の追加指定と公有地化を促進すると共に、整備・活用の手法を検討。【H25～】	280千円
牽牛子塚古墳等整備事業【文化財課】	・牽牛子塚古墳と越塚御門古墳の保存・活用に向け、歴史的風土にふさわしく飛鳥を体感できる施設とするための復元整備を行う。 牽牛子塚古墳復元【H29～R3】	131,140千円
明日香法40周年記念事業【総合政策課】	明日香法施行40年や飛鳥古京を守る議員連盟設立50年の節目にあたり、法制定当時のあゆみを振り返るとともに、未来へと繋げることを目的とし、資料の収集・整理、関係者への取材等を行い、記念誌を作成。	6,000千円

令和元年度補正予算

区 分	内 容	
学校ICT環境整備事業【教育文化課】	・将来の超スマート社会に生きる次代を担う子どもたちの育成には欠かすことのできない情報活用能力の向上を目的に、コンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を活用するために必要な環境を整える。 小学校・中学校の無線LAN環境整備及びパソコン購入【R1～R3】 対象児童:小学校5年生～中学校3年生 200台	47,000千円